

令和6年度 学校経営報告書(自己評価)

学校番号	9	学 校 名	静岡県立伊豆中央高等学校	校 長 名	川村 陽一
------	---	-------	--------------	-------	-------

本年度の取組(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	自己肯定感の涵養	①生活リズムが安定している 90%※1 朝食摂取率95%※1 自ら行動している80%※1	今年度の朝食摂取率は、98.9%。	A	朝食摂取率は、98.9%で、目標は達成できた。あと1.1%の生徒については朝食をしっかりと食べて一日のリズムを整え、健康管理に努めてもらいたい。
		②挨拶の励行90%※1 規範意識のある生活95%※1 いじめ・体罰0件 生徒による学校生活の見直し	自ら挨拶ができ規範意識のある生活は達成できた。	A	自ら進んで挨拶する習慣は校風となっている。規範意識のある生活は概ね良好である。いじめ件数は0件であり、早期発見及び未然防止としてアンケート実施は大変機能している。
		③連続欠席者への早期対応・支援の強化 相談できる教職員の存在80%※1	相談できると答えた生徒1年55%、2年49%、3年68%	B	担任、学年主任、特別支援コーディネーター、SCと協力して丁寧に対応した。悩みを抱えた生徒や保護者にSCの利用を促し、ケース会議も活用した。
		④行事等実施後の満足度80%※1 友人や周囲への思いやり度90%※1 諸行事への自主的参加90%※1	学校行事が充実していると答えた生徒1年97%、2年95%、3年96% 信頼できる友人がいると答えた生徒1年97%、2年97%、3年98% 修学旅行アンケート満足度(とても満足+満足)97.1%	A	多くの生徒が、積極的に学校行事に取り組み満足度も高く充実した学校生活を送れている。多様な生徒に対して生徒は互いに認め合い心根が優しい生徒が多く一人ひとりが思いやりを持ち相手を尊重して学校生活を送っている。修学旅行後のアンケートでは97.1%がとても満足・満足と回答し、目標は達成できた。
		⑤部活動との両立ができた生徒90%※1 部活動ガイドラインの遵守100%※3	部活動との両立ができた73%。ガイドラインの厳守100%	A	部活動に積極的に参加している。93%。学習にも意欲的に取り組んでいる。ガイドラインを厳守し成果を上げた。

様式第3号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
イ	自ら学ぶ力の育成	①授業理解度 (わかりやすい授業)90%以上 ※1 教職員間での授業公開と授業見学の実施 他校の取組の研究	本校の先生の授業はわかりやすいと答えた生徒 1 年 66%、2 年 46%、3 年 68% 教員間の授業公開は6月、10月の強調月間において全教員が行っている。 総合的な探究の時間、英語、数学、理科、地歴科等で他校の取り組みを参観した。	B	授業が分かりやすいかという問いの選択肢に「ふつう」を加えたため、「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた生徒の割合が昨年度よりも減少した。 3 学年とも学習用端末が整備されたことで、ICT を活用する場面も増えており、多くの職員が分かりやすい授業を行うために工夫をしている。
		②探究の時間の充実 70%※1 学習意欲の向上 80%※1	探究の時間が「充実していた」「どちらかといえば充実していた」と回答した生徒の割合が 91.3%	A	東京グローバルゲートウェイでの体験研修や保育体験実習、大学見学等の学校外での活動の満足度が高かった。また、自己の興味に基づく課題研究では、将来について新たな視点で考える機会となった。 DX ハイスクールとなり、数理・情報系の内容をより充実させていくことが今後の課題である。
		③基礎力テスト (スタディーサポート)の活用 到達度テスト(リクルート)学習到達度 70%以上 生徒自らスタディサプリの使用 100% 外部模試偏差値平均 52 以上	到達度テストの正解率は、右記のとおり。 スタディサプリの利用率は 1 年 95.2%、2 年 79.5%、3 年 54.5%	B	到達度テスト平均正解率 5月 10月 1年 全体 73.9% → 61.8% 2年 全体 53.8% → 53.4% 概ね昨年度と同程度の正解率であった。次年度以降は成果目標の設定変更を検討したい。 スタディサプリアは、3 学年とも利用率が昨年比 110%程度と増加しており、自主学習のツールとして活用されている様子が見える。
		④家庭学習時間 1 日平均2時間以上 自主的な学習への取組 80%以上※1 放課後等自主	休日でも目標より 30 分程度下回った。 自主学習を行っている生徒は 1 年 66.6%、2 年 58.0%	B	家庭学習のきっかけとして、放課後に教室を開放し、学校で自主学習をしていくことを推奨している。 自主学習への取組は、「課題等の提出が必要なものがあるときに学習する」という回答を合わせると、1 年 91.0%、2 年 89.2%であり、課題が

様式第3号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		学習の継続	家庭学習時間 10月調査 1年平日 55分 休日 1時間 23分 2年平日 53分 休日 1時間 23分		あれば、ほとんどの生徒が家庭で学習に取り組んでいる。一方で、勉強する時間を決めて取り組んでいる生徒は少ないため、課題がなくとも自主的に学習に取り組む習慣をつくることが今後の課題である。
ウ	こころざしの育成と全生徒の進路実現	①自己実現を考える機会年間10回以上（進路講演会、きらめきフォーラム、大学説明会、系統別説明会、医療講座、公務員講座、学校薬剤師と語る会等） 大学見学満足度90%以上※1 TGG満足度90%以上※	大学見学満足度、87.8% TGG満足度87.1%	B	例年行っているきらめきフォーラム、進路講演会などに加え、オンラインを活用しての個に応じた大学説明会や学部ガイダンスを新たに実施したため、年間10回を上回る進路行事を行うことができた。その結果として、生徒の進路選択の視野が広がっている。大学見学とTGGについては、より充実したものとなるよう、行事の抜本的な見直しを進めている。
		②オープンキャンパスへの参加80%以上※1 大学進学のための目標が明確になった70%※1	オープンキャンパスへの参加率65.5% 大学進学のための目標が明確になったとしている生徒は95.9%	B	オープンキャンパスへの参加率は2年生に限ると86%となり、2年生全員が何らかの形で大学調べを行っている。大学進学のための目標決定に重要な役割を果たしていると考えている。
		③国公立大学への合格率25%以上	令和5年度卒業生は30.8%	B	12月末段階では総合型選抜および、公募型の学校推薦型選抜で11名の合格者が出ている。この数字はここ数年ではもっとも多いものとなっている。一般選抜においてさらに合格者を増やせるよう努力していきたい。
エ	組織力の強化と業務改善	①分掌・学年会の定期的実施 分掌業務・組織の見直しと適切化 各内規の見直しの実施 ICTを活用した業務改善の推進	次年度の分掌を令和6年度の6分掌から4分掌へ変更する。 職員会議資料のICT化と整理方法の改善	A	図書・研修課→教務課に吸収 保健主事、養護教諭、相談室長→生徒課に吸収 教務・生徒・進路・総務の4分掌とする。次年度以降教務課と総務課を統合し、3分掌とすることを検討する。 次年度から職員会議資料を協議事項と報告事項に分類し、事前に協議のゴールイメージを提示するように変更する予定。今年度中に

様式第3号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
					分類は進める。
		②健診受診率 100%※3 ストレスチェック 受診率 100% ※3 夏季休暇の完全 取得者 100% ※3 完全退校時間の 遵守 職員の超過勤務 時間の削減	夏季休暇完全 取得者＝ 94.2% 完全退校時間 20時30分設定 超過勤務時間 の削減令和5 年度比24.3% 削減(10月末)	C	夏季休暇完全取得は昨年同様2名の未取得者が出てしまった。完全退校時間は昨年度よりも1時間30分前倒したが、繁忙期がずれることから遵守率は低い状況が続いている。超過勤務時間については令和5年度比で改善されているが、依然として多い。
		③不祥事ミニ研修年10回以上 教育公務員としての自覚100% ※3	不祥事ミニ研修 12回実施	B	職員会議ごとにコンプライアンス通信等を使ってミニ研修を行った。本校での事案についても自分事としてとらえられるように研修を行った。
オ	学校・家庭・地域との 連携協力	①ボランティア 等地域活動に 参加する生徒 60%以上※1	校外のボラン ティア活動に 参加した生徒 30名	B	ボランティア活動に興味を持ち積極的に参加する生徒も昨年と比較すると増えているように思われるが、全体的にみると参加する生徒は少ない。
		②保護者が学 校に来る機会 の増加 保護者への進 路情報の提供 保護者が学校 のことを知るよ うになった70% 以上※2	PTA 総会出席 率47%。PTAと 後援会と生徒と の懇談会は17 名の保護者の 出席。公式イン スタグラム開 設。	B	PTA 総会の出席率は、50%になるように呼びかけを行いたい。「PTAと後援会と生徒の懇談会」は例年よりも保護者の出席が多くなったのでよかった。公式インスタグラムで学校行事などの情報を発信したことにより、保護者も含めて学校の情報を知ってもらう機会が増えた。
		③交通事故件 数前年度より減 非行・問題行動 0件	交通事故4件、 非行・問題行動 0件	A	交通事故4件については、自転車対自動車3件、自転車対自転車が1件。問題行動は0件で、生徒は非常に落ち着いた生活を送れている。
		④学校説明会 の実施年3回以 上 オープンスクール の実施年2回 参加者の満足 度90% 中学生への直 接的な広報の 計画と実施	学校説明会4回 中学生進路相 談会2回 オープンスクール 3回 中学校訪問(1 年部・運営委 員) 中学校の高校 説明会20回	A	昨年度よりも広報活動は充実し、インスタグラムでの広報活動など中学生からの反響もよかった。しかし、入学者定員減がマイナスの印象となってしまった。今後は定員減少をプラスに転じる特徴づけが課題。 授業公開のアンケートでは、生徒の挨拶や真面目な授業態度が高く評価されており、これまでの堅実

様式第3号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		中学校訪問による情報収集と連携の充実			な取組も引き続き継続していきたい。
		⑤年3回以上実施 連携事業の検討	年3回実施(5月、11月、1月)	A	今年度は第1回を文化祭の校内発表と重ねたことにより委員の方に文化祭を見ていただくことができた。第2回でスクールミッションについて意見をもらうことができ、学校の方向性について協議することができた。
カ	魅力ある学校づくり	①将来構想の具現化事業開発・実施	令和6年度DX ハイスクール事業、静岡県「行きたい学校づくり」推進事業採択	A	いずれの事業においても情報系の内容を中心に据えた総合的な探究の時間のプログラムを完成することを目指している。なお、令和8年度から2年生全員に情報Ⅱを履修させるなど特徴的なカリキュラムを作成することができた。
		②ホームページ更新回数前年度より増 本校の記事新聞掲載数前年度より増	ホームページ全面改訂 インスタグラムフォロワー1,500人突破	A	今年度はホームページの切り替えがあり、全面見直しと記事の更新を行った。さらに、公式インスタグラムを開設し、半年間でフォロワー数が1,500人を超えた。
		③防災訓練年3回実施 緊急時対応の理解度100% ※1※2※3 地域防災訓練参加率の向上	防災訓練は地震、水害、火災の訓練を1回ずつ計3回しっかり行った。地域防災訓練の参加率7%。	B	防災訓練については、1学期に地震の防災訓練、2学期に火災の防災訓練、3学期に水害の防災訓練を行った。 地域防災訓練の参加状況は、2年生の修学旅行や、1,3年生の期末試験前と重なり、あまりよい状況ではなかった。
		④適切な会計処理の励行と不祥事根絶 環境整備、危険個所の把握、安全管理等の点検年3回以上 教育環境の改善度90%※1	監査、検査における指摘事項は0件。ほぼ毎日校舎内を巡回し、安全管理を実践した。屋外便所改修工事と生徒昇降口の環境改善を行なった。	A	DXハイスクールの予算を活用した情報・総採準備室を設営したことにより、生徒にとっても魅力的な教室を作ることができた。 今後も適切な会計処理を継続していく。
		⑤学校評価アンケート課題解決2項目以上	・定員割れの対策のため、入試制度の改変と広報活動の充実を行った。 ・保護者連絡用ツールを次年	A	・今年度入試から定員削減になってしまったが、学校裁量枠の探究分野を創設し、公式インスタグラムの開設も行った。中学生からも好評で、一日体験入学、授業公開では昨年度よりも100名近く多くの中学生が参加してくれている。

様式第 3 号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
			度から統一するため、今年度の1, 2年生から試行実施している。		・保護者への連絡手段を統一(次年度からスタディサブリの連絡ツール)することが決定した。今年度から1, 2年生で試行しており、全保護者が登録を完了している。

※ 1 は生徒※ 2 は保護者※ 3 は教職員